2019年度　　北海道スポーツ専門学校　　スポーツ未来／スポーツトレーナー／スポーツ健康　学科
SMⅣ／MTⅡ／SPⅡ　専攻

授業科目 （科目ID）	スタジオプログラム 19t230 / 19t407	担当教員 （実務経験）	前期：大嶋　春香／後期：齋藤　真弓 有 ☑　無 ☐　スタジオインストラクター		
対象年次・学期	4年／2年・通年	必修・選択区分	必修／選択必修(SPⅡ)	単位数	2単位
授業形態	実習	授業回数（1回90分）	30	時間数	60時間
授業目的	《前期》格闘系のグループエクササイズ。簡単な指導法までを到達目標とする。スポーツ施設等で需要の多いヨガ（フローヨガ、リラクゼーションヨガ）を体験する。《後期》ピラティス、ジャイロキネシス、フェルデンクライスメソッドのレッスンを通して、頭だけではなく実際に自分の体で感じ理解することを深めていく。				
到達目標	《前期》基本の動きを組み合わせ初心者向けのプログラムを作成できる。太陽礼拝・基本のポーズ・ヨガの心得を実施し、述べることができる。 《後期》誰でもできる動きで、自分の体をオーガナイズすることを実施する。				
テキスト・ 参考図書等					

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	(前)30%／(後)20%	《前期》 「試験」は太陽礼拝をおこなう 「小テスト」はグループ発表とする。 「その他(受講姿勢、受講態度等)」を総合的に評価する。 《後期》 試験、小テスト、その他(受講姿勢、受講態度等)を総合的に評価する。
	レポート	%	
	小テスト	(前)30%／(後)0%	
	提出物	%	
	その他	(前)40%／(後)80%	

履修上の 留意事項	《前期》スタジオでの実技・講義 《後期》講義30～45分、レッスン45～60分、ピラティス、フェルデンクライスメソッド→マット使用、ジャイロキネシス→マット・イス使用、・ホワイトボード使用・プリント配布

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	オリエンテーション（格闘系）	授業内容説明・体感。
	2	パンチ・キック・コンビネーション	基本的なテクニック。2人1組。
	3	パンチ・キック・コンビネーション	基本的なテクニック。2人1組。
	4	パンチ・キック・コンビネーション	基本的なテクニック。2人1組。キューイング
	5	パンチ・キック・コンビネーション	基本的なテクニック。2人1組。キューイング
	6	パンチ・キック・コンビネーション	コリオ作成・練習
	7	パンチ・キック・コンビネーション	発表会
	8	オリエンテーション（フローヨガ）	体感
	9	オリエンテーション（リラクゼーションヨガ）	体感
	10	太陽礼拝	2人1組
	11	太陽礼拝	1つ1つのポーズの確認
	12	ヨーガ概論	筆記用具準備
	13	試験対策①	2人1組
	14	試験対策②	2人1組
	15	実技試験	テスト

	16	マットピラティス①	歴史・呼吸　実技：初級
	17	マットピラティス②	呼吸・センタリング　実技：初級
	18	マットピラティス③	原理原則　実技：初級
	19	マットピラティス④	スパイナルメカニクス　実技：初級
	20	マットピラティス⑤	解剖学①　実技：モディフィケーション
	21	フェルデンクライス①	動きの解剖学と体の繋がり①
	22	フェルデンクライス②	動きの解剖学と体の繋がり②
	23	フェルデンクライス③	動きの解剖学と体の繋がり③
	24	マットピラティス⑥	解剖学②　実技：モディフィケーション
	25	マットピラティス⑦	解剖学③　実技：中級
	26	マットピラティス⑧	解剖学④　実技まとめ
	27	マットピラティス⑨	実技テスト対策
	28	マットピラティステスト／ジャイロキネシス①	実技テスト／ジャイロキネシスイントロダクション
	29	ジャイロキネシス②	実技初級①
	30	ジャイロキネシス③	実技初級②

授業科目 （科目ID）	スタジオプログラム 19t230 / 19t407	担当教員 （実務経験）	齋藤 真弓（後期） 有 ☑ 無 ☐ ボディコンディショニングスタジオ M's Flow
対象年次・学期	4年／2年・通年	担当教員 （実務経験）	 有 ☑ 無 ☐
授業形態	実習		
		担当教員 （実務経験）	 有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	 有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	 有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	 有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	 有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	 有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	 有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	 有 ☐ 無 ☐

2019年度　　北海道スポーツ専門学校　　スポーツ未来／スポーツトレーナー／スポーツ健康　学科
SMⅢ／AT・MTⅡ／SP・PE・SCⅠ　専攻

授業科目 （科目ID）	就職セミナー 19t350 / 19t220 / 4G61	担当教員 （実務経験）	濱田 光 有 ☐ 無 ☑		
対象年次・学期	各学科就職学年前年（3年、2年、1年）・集中	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	実習	授業回数（1回90分）	15	時間数	30時間
授業目的	就職への意識づけ、意欲向上を目的とする。				
到達目標	各種セミナーに積極的に参加することで、社会人に必要な知識・能力について理解を深めることができる。				
テキスト・ 参考図書等					

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	%	セミナー担当者に、各プログラムに対する取り組み状況について、相対的な判断にて評価してもらう。（セミナー担当者と当該クラス担任間において情報交換し評価する場合もある。） 「レポート（感想、アンケート含む）」の提出をもって、取り組み状況を把握する。
	レポート	%	
	小テスト	%	
	提出物	%	
	その他	100%	

履修上の留意事項
セミナー参加に対する各自の目標設定等が大変重要となります。就職活動がより充実したものとなるように、積極的にコミュニケーションを図りながら、目標達成を目指してください。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	オリエンテーション	就職セミナーの目的説明、挨拶練習、その他
	2	セミナー①	就職活動と社会人
	3		
	4	セミナー②	シンポジウム（就職活動開始から内定まで、各種試験、その他）
	5		
	6		
	7	セミナー③	就活・スーツ・見出しなみについて
	8		
	9	セミナー④	就活本番に向けて
	10		
	11	セミナー⑤	本当に必要な人材とは
	12		
	13	セミナー⑥	就活に向けての大切な第一歩！
	14		
	15	まとめ	レポート作成、就職に関する意識調査、各種アンケート等

2019年度　　北海道スポーツ専門学校　　スポーツトレーナー／スポーツ健康　学科
AT・MT／SP・PE・SC　専攻

授業科目 （科目ID）	コミュニケーションⅡ 19s224 / 19t221	担当教員 （実務経験）	土岐　政義／田口　清輝 有 ☐　無 ☑		
対象年次・学期	2年・集中	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数（1回90分）	15	時間数	30時間
授業目的	1年次からの応用として、コミュニケーションを通じて、課題克服への積極的挑戦から自信に繋げる。				
到達目標	自主的に話題性をもって、人に関わり、立ち位置を確立できるようになる。				
テキスト・ 参考図書等	必要に応じて、資料を配布する。				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	%	レポート 20% 提出物　20% その他　60%（受講姿勢、受講態度等30%、担当所見30%）
	レポート	20%	
	小テスト	%	
	提出物	20%	
	その他	60%	

履修上の 留意事項	プリント・視聴覚機器等を活用しながら進めていきます。人との信頼関係を築くためのツールとして『コミュニケーション』はとても大切です。社会人に向けての大切な要素を学ぶ期間として、真剣に自分と向き合ってみましょう。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	就職活動に向けて①	履歴書の記入方法
	2	就職活動に向けて②	自己分析 自分の強み、弱さ、今後どのように成長していくか、どのような職業人でありたいか
	3	就職活動に向けて③	業界研究 進みたい分野においての調査
	4	就職活動に向けて④	就職情報サイトの利用方法
	5	面接試験に向けて①	心構え、様々な面接試験について
	6	面接試験に向けて②	入退室、面接試験体験①
	7	面接試験に向けて③	入退室、面接試験体験②
	8	一般常識①	漢字（読み・書き）
	9	一般常識②	丁寧語、敬語
	10	一般常識③	挨拶、接遇
	11	一般常識④	マナー、一般常識（応用）
	12	一般常識⑤	ペア対話、グループ対話
	13	まとめ①	確認テスト（読み・書き・丁寧語・敬語）
	14	まとめ②	確認テスト（挨拶・接遇）
	15	まとめ③	確認テスト（マナー・一般常識応用）

授業科目 （科目ID）	コミュニケーションⅡ 19s224 / 19t221	担当教員 （実務経験）	土岐　政義 有 ☑ 無 ☐ アスレティックトレーナー
対象年次・学期	2年・集中	担当教員 （実務経験）	田口　清輝 有 ☑ 無 ☐ トレーニング指導者
授業形態	講義		
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐

2019年度　　北海道スポーツ専門学校　　スポーツトレーナー／スポーツ健康　学科
AT・MT／SP・PE・SC　専攻

授業科目 （科目ID）	カレッジイベントⅡ 19t222 / 19s223	担当教員 （実務経験）	土岐　政義／田口　清輝 有 ☐　無 ☑		
対象年次・学期	2年・集中	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義	授業回数（1回90分）	15	時間数	30時間
授業目的	イベントを楽しく成功させる為の方法をディスカッションを通じ企画する事を目的とする。				
到達目標	誰もが楽しめるイベントを目指す。				
テキスト・ 参考図書等	必要に応じて資料を配布。				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	%	レポート 20% 提出物　20% その他　60%（受講姿勢、受講態度等30%、担当所見30%）
	レポート	20%	
	小テスト	%	
	提出物	20%	
	その他	60%	

履修上の 留意事項	プリント・視聴覚機器等を活用しながら進めていきます。、人との信頼関係を築くためのツールとして『コミュニケーション』はとても大切です。社会人に向けての大切な要素を学ぶ期間として、真剣に自分と向き合ってみましょう。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	カレッジイベント内容①	イベントの内容説明
	2	役割分担	執行部、委員、種目担当、種目参加者の決定
	3	リハーサル	各種目のルール、及び実践確認
	4	イベント実施	スポーツ大会
	5	振り返り	レポート作成、提出
	6	カレッジイベント内容②	イベントの内容説明
	7	役割分担	執行部、委員、種目担当、種目参加者の決定
	8	リハーサル	各種目のルール、及び実践確認
	9	イベント実施	スポーツフェスティバル
	10	振り返り	レポート作成、提出
	11	カレッジイベント内容③	イベントの内容説明
	12	役割分担	執行部、委員、イベント参加者、展示担当者の決定
	13	リハーサル	執行部、委員、イベント参加者、展示担当者　当日準備
	14	イベント実施	学園祭
	15	振り返り	レポート作成、提出

授業科目 （科目ID）	カレッジイベントⅡ 19t222 / 19s223	担当教員 （実務経験）	土岐 政義 有 ☑ 無 ☐ アスレティックトレーナー
対象年次・学期	2年・集中	担当教員 （実務経験）	田口 清輝 有 ☐ 無 ☑ トレーニング指導者
授業形態	講義		
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐

2019年度　　北海道スポーツ専門学校　　スポーツ未来／スポーツトレーナー　学科
SMⅢ／AT・MTⅡ　専攻

授業科目（科目ID）	スポーツ現場実習 19t326 / 19t223	担当教員 （実務経験）	濱田 光・土岐 政義・ 髙田 涼介 有 ☐ 無 ☑		
対象年次・学期	3年／2年・集中	必修・選択区分	必修・選択（SMⅢ・MTⅡ）	単位数	1単位
授業形態	講義・実習	授業回数（1回90分）	15	時間数	30時間
授業目的	スポーツ現場へ帯同し、アスレティックトレーナーとして、必要に応じたコンディショニング・アスレティックリハビリテーション・救急処置を立案・実践することを目的とする				
到達目標	スポーツ現場でコンディショニング・アスレティックリハビリテーション・救急処置を実施出来る。				
テキスト・参考図書等	公認ATテキスト③、⑥、⑧				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	%	受講姿勢、受講態度等を総合的に評価する。
	レポート	%	
	小テスト	%	
	提出物	%	
	その他	100%	

履修上の留意事項	特になし。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	スポーツ現場実習 1（濱田・土岐・髙田）	スポーツ現場でコンディショニング（W-UP、C-DOWN、トレーニング）・アスレティックリハビリテーション・救急処置（RICE処置）を実施する。
	2	スポーツ現場実習 2（濱田・土岐・髙田）	スポーツ現場でコンディショニング（W-UP、C-DOWN、トレーニング）・アスレティックリハビリテーション・救急処置（RICE処置）を実施する。
	3	スポーツ現場実習 3（濱田・土岐・髙田）	スポーツ現場でコンディショニング（W-UP、C-DOWN、トレーニング）・アスレティックリハビリテーション・救急処置（RICE処置）を実施する。
	4	スポーツ現場実習 4（濱田・土岐・髙田）	スポーツ現場でコンディショニング（W-UP、C-DOWN、トレーニング）・アスレティックリハビリテーション・救急処置（RICE処置）を実施する。
	5	スポーツ現場実習 5（濱田・土岐・髙田）	スポーツ現場でコンディショニング（W-UP、C-DOWN、トレーニング）・アスレティックリハビリテーション・救急処置（RICE処置）を実施する。
	6	スポーツ現場実習 6（濱田・土岐・髙田）	スポーツ現場でコンディショニング（W-UP、C-DOWN、トレーニング）・アスレティックリハビリテーション・救急処置（RICE処置）を実施する。
	7	スポーツ現場実習 7（濱田・土岐・髙田）	スポーツ現場でコンディショニング（W-UP、C-DOWN、トレーニング）・アスレティックリハビリテーション・救急処置（RICE処置）を実施する。
	8	スポーツ現場実習 8（濱田・土岐・髙田）	スポーツ現場でコンディショニング（W-UP、C-DOWN、トレーニング）・アスレティックリハビリテーション・救急処置（RICE処置）を実施する。
	9	スポーツ現場実習 9（濱田・土岐・髙田）	スポーツ現場でコンディショニング（W-UP、C-DOWN、トレーニング）・アスレティックリハビリテーション・救急処置（RICE処置）を実施する。
	10	スポーツ現場実習 10（濱田・土岐・髙田）	スポーツ現場でコンディショニング（W-UP、C-DOWN、トレーニング）・アスレティックリハビリテーション・救急処置（RICE処置）を実施する。
	11	スポーツ現場実習 11（濱田・土岐・髙田）	スポーツ現場でコンディショニング（W-UP、C-DOWN、トレーニング）・アスレティックリハビリテーション・救急処置（RICE処置）を実施する。
	12	スポーツ現場実習 12（濱田・土岐・髙田）	スポーツ現場でコンディショニング（W-UP、C-DOWN、トレーニング）・アスレティックリハビリテーション・救急処置（RICE処置）を実施する。
	13	スポーツ現場実習 13（濱田・土岐・髙田）	スポーツ現場でコンディショニング（W-UP、C-DOWN、トレーニング）・アスレティックリハビリテーション・救急処置（RICE処置）を実施する。
	14	スポーツ現場実習 14（濱田・土岐・髙田）	スポーツ現場でコンディショニング（W-UP、C-DOWN、トレーニング）・アスレティックリハビリテーション・救急処置（RICE処置）を実施する。
	15	スポーツ現場実習 15（濱田・土岐・髙田）	スポーツ現場でコンディショニング（W-UP、C-DOWN、トレーニング）・アスレティックリハビリテーション・救急処置（RICE処置）を実施する。

授業科目 （科目ID）	スポーツ現場実習 19t326 / 19t223	担当教員 （実務経験）	濱田 光 有 ☐ 無 ☑
対象年次・学期	3年／2年・集中	担当教員 （実務経験）	土岐 政義 有 ☑ 無 ☐ アスレティックトレーナー
授業形態	講義・実習	担当教員 （実務経験）	高田 涼介 有 ☑ 無 ☐ アスレティックトレーナー、鍼灸師
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐

2019年度　　北海道スポーツ専門学校　　スポーツトレーナー　学科
AT・MT　専攻

授業科目 （科目ID）	トレーナー評価実習 19t224	担当教員 （実務経験）	本間　俊一・橋場　晋也・小林　大介・綿谷　美佐子・小川　公邦 濱田　光・土岐　政義・　高田　涼介 有 ☐　無 ☑		
対象年次・学期	2年・集中	必修・選択区分	必修・選択（MTⅡ）	単位数	1単位
授業形態	実習	授業回数（1回90分）	15	時間数	30時間
授業目的	トレーナー現場に帯同し、必要に応じて検査・測定と評価が出来ることを目的とする。				
到達目標	トレーナー現場で検査・測定と評価を実施し、選手に説明出来ることを目標とする。				
テキスト・ 参考図書等	公認ATテキスト⑤				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	%	受講姿勢、受講態度等を評価基準とする。
	レポート	%	
	小テスト	%	
	提出物	%	
	その他	100%	

履修上の 留意事項	特になし。

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	トレーナー評価実習　1(本間・橋場・小林・綿谷・小川・濱田・土岐・高田)	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。
	2	トレーナー評価実習　2(本間・橋場・小林・綿谷・小川・濱田・土岐・高田)	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。
	3	トレーナー評価実習　3(本間・橋場・小林・綿谷・小川・濱田・土岐・高田)	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。
	4	トレーナー評価実習　4(本間・橋場・小林・綿谷・小川・濱田・土岐・高田)	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。
	5	トレーナー評価実習　5(本間・橋場・小林・綿谷・小川・濱田・土岐・高田)	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。
	6	トレーナー評価実習　6(本間・橋場・小林・綿谷・小川・濱田・土岐・高田)	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。
	7	トレーナー評価実習　7(本間・橋場・小林・綿谷・小川・濱田・土岐・高田)	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。
	8	トレーナー評価実習　8(本間・橋場・小林・綿谷・小川・濱田・土岐・高田)	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。
	9	トレーナー評価実習　9(本間・橋場・小林・綿谷・小川・濱田・土岐・高田)	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。
	10	トレーナー評価実習　10(本間・橋場・小林・綿谷・小川・濱田・土岐・高田)	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。
	11	トレーナー評価実習　11(本間・橋場・小林・綿谷・小川・濱田・土岐・高田)	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。
	12	トレーナー評価実習　12(本間・橋場・小林・綿谷・小川・濱田・土岐・高田)	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。
	13	トレーナー評価実習　13(本間・橋場・小林・綿谷・小川・濱田・土岐・高田)	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。
	14	トレーナー評価実習　14(本間・橋場・小林・綿谷・小川・濱田・土岐・高田)	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。
	15	トレーナー評価実習　15(本間・橋場・小林・綿谷・小川・濱田・土岐・高田)	アスレティックトレーナーに必要な評価、検査測定の方法、スポーツ動作の観察と解析について。

授業科目 （科目ID）	トレーナー評価実習 19t224	担当教員 （実務経験）	本間　俊一 有 ☑ 無 ☐ アスレティックトレーナー
対象年次・学期	2年・集中	担当教員 （実務経験）	橋場　晋也 有 ☑ 無 ☐ アスレティックトレーナー、鍼灸師
授業形態	実習	担当教員 （実務経験）	小林　大介 有 ☑ 無 ☐ アスレティックトレーナー、鍼灸師
		担当教員 （実務経験）	綿谷　美佐子 有 ☑ 無 ☐ アスレティックトレーナー、理学療法士
		担当教員 （実務経験）	小川　公邦 有 ☑ 無 ☐ アスレティックトレーナー
		担当教員 （実務経験）	濱田　光 有 ☐ 無 ☑
		担当教員 （実務経験）	土岐　政義 有 ☑ 無 ☐ アスレティックトレーナー
		担当教員 （実務経験）	髙田　涼介 有 ☑ 無 ☐ アスレティックトレーナー、鍼灸師
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐

2019年度　　北海道スポーツ専門学校　　スポーツトレーナー／スポーツ健康　学科
AT・MT／SP・PE・SC　専攻

授業科目 （科目ID）	二年次研究課題Ⅰ 19t225 / 19s227	担当教員 （実務経験）	濱田 光・齋藤 敬男・北村 和弘 他 有 ☐ 無 ☑		
対象年次・学期	2年・集中	必修・選択区分	選択	単位数	4単位
授業形態	講義	授業回数（1回180分）	15	時間数	60時間
授業目的	与えられた課題や問題を学問的に深く考え、調べ、明らかにする。				
到達目標	調べ、明らかにした内容をレポート等としてまとめあげる。				
テキスト・ 参考図書等	必要に応じて資料等配布する				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	%	レポートや提出物等の状況を総合的に評価する。
	レポート	60%	
	小テスト	%	
	提出物	20%	
	その他	20%	

履修上の留意事項	

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	評価の目的、意義および役割	現場で必要な評価
	2	姿勢・アライメント・筋委縮	姿勢の評価基準・指標、スポーツ活動と姿勢
	3	姿勢・アライメント・筋委縮	筋委縮の観察、計測の目的と意義
	4	関節弛緩性	関節弛緩性検査の目的、意義および検査方法
	5	体力測定	体力測定（概論）、一般青年、成人を対象
	6	体力測定	少年を対象、中・高年齢者を対象
	7	筋タイトネス	筋柔軟性・筋タイトネスとその検査測定の意義
	8	全身持久力と敏捷性	全身持久力の目的と意義および手技と測定指標
	9	全身持久力と敏捷性	敏捷性・協調性の目的と意義および具体的手法
	10	関節可動域	関節可動域測定の目的、意義および検査方法、留意点
	11	徒手筋力検査	徒手筋力検査の目的と意義
	12	徒手筋力検査	判定基準、検査上の留意点、検査手順
	13	身体組成	目的と意義、および具体的手法
	14	筋力および筋パワー	目的と意義および検査測定方法
	15	筋力および筋パワー	機器による筋力評価

授業科目 （科目ID）	二年次研究課題Ⅰ 19t225 / 19s227	担当教員 （実務経験）	濱田 光 有 ☐ 無 ☑
対象年次・学期	2年・集中	担当教員 （実務経験）	齋藤 敬男 有 ☐ 無 ☑
授業形態	講義		
		担当教員 （実務経験）	北村 和弘 有 ☑ 無 ☐ スポーツ指導員
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐

2019年度　　北海道スポーツ専門学校　　スポーツトレーナー／スポーツ健康　学科
AT・MT／SP・PE・SC　専攻

授業科目 （科目ID）	二年次研究課題Ⅱ 19t226 / 19s228	担当教員 （実務経験）	濱田 光・齋藤 敬男・北村 和弘 他 有 ☐ 無 ☑		
対象年次・学期	2年・集中	必修・選択区分	選択	単位数	4単位
授業形態	講義	授業回数（1回180分）	15	時間数	60時間
授業目的	与えられた課題や問題を学問的に深く考え、調べ、明らかにする。				
到達目標	調べ、明らかにした内容をレポート等としてまとめあげる。				
テキスト・ 参考図書等	必要に応じて資料等配布する				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	%	レポートや提出物等の状況を総合的に評価する。
	レポート	60%	
	小テスト	%	
	提出物	20%	
	その他	20%	

履修上の留意事項	

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	アスリハの基本的な考え方（1）	段階的なプログラム処方
	2	アスリハの基本的な考え方（2）	リスク管理／競技特性（体力特性・動作特性）
	3	アスリハの基本的な考え方（3）	再発予防への配慮
	4	アスリハの基本的な考え方（4）	安定性、可動性、協調性
	5	足関節捻挫へのアスリハ（1）	概要説明
	6	足関節捻挫へのアスリハ（2）	デモンストレーション及び指導
	7	足関節捻挫へのアスリハ（3）	アスリハプログラムの立案
	8	大腿後面肉離れへのアスリハ（1）	概要説明
	9	大腿後面肉離れへのアスリハ（2）	デモンストレーション及び指導
	10	大腿後面肉離れへのアスリハ（3）	アスリハプログラムの立案
	11	前十字靭帯損傷へのアスリハ（1）	概要説明
	12	前十字靭帯損傷へのアスリハ（2）	デモンストレーション及び指導
	13	前十字靭帯損傷へのアスリハ（3）	アスリハプログラムの立案
	14	肩関節前方脱臼へのアスリハ（1）	概要説明
	15	肩関節前方脱臼へのアスリハ（2）	デモンストレーション及び指導、アスリハプログラムの立案

授業科目 （科目ID）	二年次研究課題Ⅱ 19t226 / 19s228	担当教員 （実務経験）	濱田 光 有 ☐ 無 ☑
対象年次・学期	2年・集中	担当教員 （実務経験）	齋藤 敬男 有 ☐ 無 ☑
授業形態	講義		
		担当教員 （実務経験）	北村 和弘 有 ☑ 無 ☐ スポーツ指導員
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐

2019年度　　北海道スポーツ専門学校　　スポーツトレーナー／スポーツ健康　学科
AT・MT／SP・PE・SC　専攻

授業科目（科目ID）	二年次研究課題Ⅲ 19t227 / 19s229	担当教員 （実務経験）	濱田 光・齋藤 敬男・北村 和弘 他 有 ☐ 無 ☑		
対象年次・学期	2年・集中	必修・選択区分	選択	単位数	4単位
授業形態	講義	授業回数（1回180分）	15	時間数	60時間
授業目的	与えられた課題や問題を学問的に深く考え、調べ、明らかにする。				
到達目標	調べ、明らかにした内容をレポート等としてまとめあげる。				
テキスト・参考図書等	必要に応じて資料等配布する				

評価方法・評価基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準
	試験	%	レポートや提出物等の状況を総合的に評価する。
	レポート	60%	
	小テスト	%	
	提出物	20%	
	その他	20%	

履修上の留意事項	

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	1	コンディショニングの概念	コンディショニングの概念とその要素
	2	トレーニングの基礎	超回復、ATP産生について
	3	トレーニングの基礎	筋線維タイプ、筋収縮様式について
	4	トレーニングの原則	7原則の確認
	5	ピリオダイゼーション	GAS理論、期分けの分類
	6	トレーニングカテゴリー	トレーニングの分類
	7	レジスタンスTr・プライオメトリクス	具体的種目の確認、その目的と効果
	8	パワーエクササイズ	具体的種目の確認、その目的と効果
	9	アジリティーTr	具体的種目の確認、その目的と効果
	10	エンデュランストレーニング	具体的種目の確認、その目的と効果
	11	コーディネーショントレーニング	具体的種目の確認、その目的と効果
	12	サーキットトレーニング	具体的種目の確認とその目的と効果
	13	フィットネスチェック	筋力、筋持久力、筋パワーの測定方法、全身持久力、アジリティーの各種測定方法
	14	クーリングダウン	クーリングダウンの方法と実際
	15	ウォーミングアップ	ウォーミングアップの方法と実際

授業科目 （科目ID）	二年次研究課題Ⅲ 19t227 / 19s229	担当教員 （実務経験）	濱田 光 有 ☐ 無 ☑
対象年次・学期	2年・集中	担当教員 （実務経験）	齋藤 敬男 有 ☐ 無 ☑
授業形態	講義		
		担当教員 （実務経験）	北村 和弘 有 ☑ 無 ☐ スポーツ指導員
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐
		担当教員 （実務経験）	有 ☐ 無 ☐